

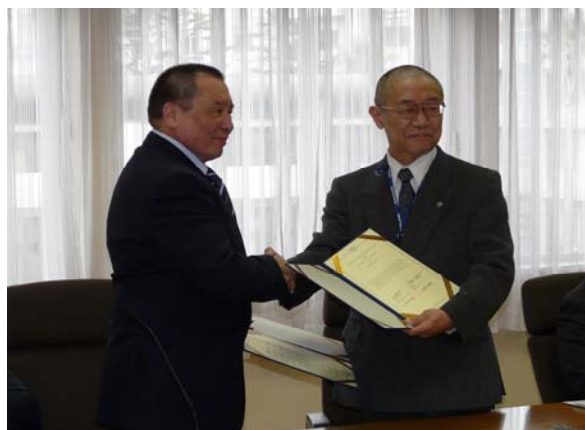
## ウクライナ医学アカデミー内分泌代謝研究所，同放射線医学研究所並びにセミパラチンスク医科大学と学術交流協定を更新



トロンコ所長と齋藤学長



コロール教授と齋藤学長



ラヒンベコフ学長と齋藤学長



関係者との記念撮影

2月1日（金），ウクライナ医学アカデミー内分泌代謝研究所，同放射線医学研究所（ウクライナ）並びにセミパラチンスク医科大学（カザフスタン共和国）との間で学術交流協定を更新しました。

ウクライナ医学アカデミー内分泌代謝研究所からミコラ・トロンコ所長，同放射線医学研究所からナタリヤ・コロール教授，セミパラチンスク医科大学からトレバイ・ラヒンベコフ学長，ジャクシベイ・ジュマディオフ副学長の4名が，1月31日（木）から本学で開催されていたグローバル COE プログラム「放射線健康リスク制御国際戦略拠点」第1回国際シンポジウムに参加されたのを機会に，柴田，溝田医歯薬学総合研究科教授その他の関係者立ち会いのもと，齋藤学長と協定書に署名を行い，学術交流協定が更新されました。

調印式には，同シンポジウムに参加されていた学術交流協定締結校のオブニンスク放射線医学研究所（ロシア連邦）のビクトル・イワノフ副所長，ベラルーシ医科大学（ベラルーシ共和国）のパベル・ベスパルチュック学長もオブザーバーとして列席されました。

今回，学術交流協定を更新した3つの機関と本学は，チェルノブイリ原発事故後のWHOの健康影響調査プロジェクトやEC（当時）の甲状腺研究及び事故処理従事者の血液疾患に関するプロジェクト等を通じて，調査協力，医療支援及び共同研究を進めてきました。

今後は，グローバル COE プログラムの共同研究推進機関として，放射線と健康問題に関して世界をリードする共同研究が推進されることが期待されています。

（研究国際部学術国際課）